

雪道のスリップ事故 に注意!

冬道安全運転5則

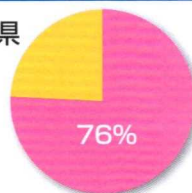
(損保協会北陸支部)

- 1 スピードは、夏場より10キロ以上減速しよう!
- 2 車間距離は路面乾燥時の2倍以上確保しよう!
- 3 急加速、急ブレーキ、急ハンドル等の急激な操作は避けよう!
- 4 視界不良時は前方をよく見て、早めに徐行しよう!
- 5 無理な追い越しはやめよう!

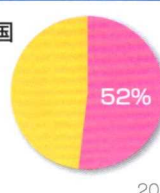


交通事故の死者数に占める高齢者(65歳以上)の割合

・石川県



・全国



2015年9月30日現在

滑りやすい路面状況※

雪道は道路(路面)自体が滑りやすくなる

摩擦係数 0.7~0.9	乾燥路		
0.2~0.4	圧雪路		3.2倍
0.1~0.2	凍結路		5.4倍
0.1未満	凍結路 (つつる凍結路面)		8.0倍

注) 摩擦係数とは、タイヤと路面間の摩擦力の大きさを表す指数をいい、指数が小さいほど滑りやすいことを意味しています。

タイヤのチェック※

冬用タイヤの積雪または凍結路走行時における溝の深さ使用限度は、新品時の50%(プラットホーム露出)までです。



夕暮れ時の早めのライト点灯とこまめな上下の切り替えの励行!



早めのライト点灯

早めにライトを点灯することは、自車の存在を他車(者)に知らしめることや歩行者等をいち早く発見するために非常に有効です。夕暮れ時は早めにヘッドライトを点けましょう。

午後4時になったらライトオン

冬季(9月~3月)は、夕暮れ時が早くなります。午後4時になったら、ライトを点灯しましょう。

事故防止にはライトの上向きが有効

他の車両等の交通を妨げるおそれのない時は、ライトを上向きにするなど、こまめにライトの上下を切り替えて、視界を広く確保しましょう。

積雪、凍結路の注意ポイント

交差点



タイヤでアイスバーンが磨かれて、ツルツルになっていることが多い危険な場所。また、雪の壁で交差点自体が見えないこともあるので注意しましょう。

坂道



下り坂は止まりにくいので、事前に十分な減速を。上り坂では、発進時のアクセル操作を慎重にしましょう。

カーブ



遠心力で車は外へ外へと流れやすくなります。対向車にも気をつけましょう。

橋の上



吹きさらしの路面は、凍結している可能性が大。橋＝アイスバーンと心得て、通過は慎重にしましょう。

トンネルの出入口



眼の明暗順応で先の状況が見えにくいので、路面状況の変化を予測したドライビングが必要です。

日影



氷がいつまでも溶けずに残っている可能性が高い。細心の注意を払って、ゆっくり走りましょう。

※出典：一般社団法人 日本自動車タイヤ協会

損害保険の
ことで相談に
のってほしい



そんぽADRセンターのご案内

お客様の損害保険に関するお困りごとを解決サポートいたします

そんぽの

中立・公正な立場で解決のサポートをいたします

① 相談

② 苦情

③ 紛争

そんぽADRセンターは、法令に基づいて国の指定を受けた指定紛争解決機関です。損害保険業務、外国損害保険業務および特定損害保険業務にかかる保険業法に基づく指定紛争解決機関として、金融庁長官から指定を受けています。

一般社団法人日本損害保険協会

そんぽADRセンター北陸

ナビダイヤル **0570-022808** 〈通話料有料〉

■受付日：月～金曜日（祝日・休日および12/30～1/4を除く）■受付時間：午前9時15分～午後5時

※PHS・IP電話からは直通電話におかけください 直通電話 **076-203-8581**

あいおいニッセイ同和損保・朝日火災・共栄火災・セコム損害保険・損保ジャパン日本興亜・東京海上日動・日新火災・富士火災・三井住友海上・AIU（オブザーバー）

一般社団法人
日本損害保険協会 北陸支部

〒920-0919 金沢市南町5-16

金沢共栄火災ビル4F

TEL：076-221-1149

http://www.sonpo.or.jp/

お問い合わせ先

